

令和7年度 第2回 松本市歴史的風致維持向上協議会 議事録

令和8年3月6日（金） 午前10:00～午前11:15
松本市立博物館 講堂

- 1 開 会 （司会進行 中心市街地活性本部 奥原次長補佐）
 - ・ 委員出欠状況報告
協議会委員の総数は10名 会場参加7名、オンライン参加1名、欠席2名
 - ・ 会議成立報告
松本市歴史的風致維持向上協議会設置要綱第5条第2項に基づき、委員の過半数が出席のため、会議成立の報告
- 2 あいさつ
（中心市街地活性本部 岩淵本部長 あいさつ）
- 3 議事（ 議事進行 梅干野会長 ）
 - ・ 松本市歴史的風致維持向上協議会設置要綱第5条第1項に基づき、会長が議事進行
 - ・ 報告事項1 「前回協議会の指摘事項及び取組等について」
 - ・ 報告事項2 「松本市近代遺産の取組について」
 - ・ 協議事項1 「進行管理・評価について」

【資料説明】

- (1) 前回協議会の指摘事項及び取組等について
資料1により事務局より説明
（中心市街地活性本部 奥原次長補佐）

【協議・意見】

意見なし

【資料説明】

- (2) 松本市近代遺産の取組について
資料2により事務局より説明
（中心市街地活性本部 奥原次長補佐）

【協議・意見】

（梅干野会長）

「旅心展」はどのような企画展か。

（伊波主事）

旅や旅行に関する様々なトピックを資料とともに紹介する内容。

（梅干野会長）

企画展にあわせて、近代遺産のまち歩きを行うことは、所有者に対して見られていると感じられる良い機会。ルートは慎重に検討されたい。

【資料説明】

- (3) 進行管理・評価について
 - ア 令和7年度進行管理・評価シート
資料3、3-1により事務局より説明
（中心市街地活性本部 伊波主事）

（米山委員）

21ページの「効果・影響等に関する報道」について、自己評価と記事の内容が反しているのではないか。

(伊波主事)

市内文化財等に関して多くの記事で取り上げていただいたため、現在の表現になっている。表現を見直す。

(原委員)

文化財は指定までは頑張るが、その後の保存が人材不足のため難しい。現在市では活用に力を入れているが、保存も大切。

(高山主任)

文化財保護法でも「保存」と「活用」と謳っている。守りながら活用していく人を育成していくのが望ましい。

(梅干野会長)

空き家の中に、歴史的な価値を有するものがある。支援していく取り組みが必要ではないか。

(岩淵本部長)

もし空き家になっている近代遺産を手放すならば、空き家バンクに登録していただけるよう、近代遺産所有者に対して意識啓発活動に取り組んでいく。

(梅干野会長)

近代遺産のうち、どれだけ空き家があるのか知りたい。近代遺産である空き家は手厚くサポートするような制度が出来てもよいと思う。

【資料説明】

(3) 進行管理・評価について

イ 中間シート

資料3-2により事務局より説明

(中心市街地活性本部 伊波主事)

(米山委員)

南・西外堀の沿道ヘファサードに対する修景事業は策定するのか。

(岩淵本部長)

修景事業は予定していない。

(梅干野会長)

計画後にどうしていくのか、この先にどうつながっているのかという視点が欠けている。魅力的な事業なので、この先結びついていくことがあるのか知りたい。

(柳澤委員代理)

南・西外堀事業では、地権者と丁寧な交渉を重ね、その後の発掘調査でも結果を市民に広く公開していると感じている。これからも用地取得でご協力いただいた方々への周知は丁寧に実施してほしい。

(米山委員)

近代遺産は今後増やしていくつもりはあるのか。

(岩渕本部長)

増やすつもりはない。現状、登録から時間が経ち、所有者が代替わりしたこと等で近代遺産を登録されていることを知らない所有者がいることがアンケートで分かった。啓発活動に取り組み、今登録されている近代遺産の保存と活用を進めていきたい。

(梅干野会長)

ネットワークが大事。所有者同士が悩みを相談できるネットワークと、悩みを解決するネットワークの2つが出来るとよい。

都道府県単位では、重要文化財の会などもある。

(柳澤委員代理)

県では、愛知県の事例を参考に、文化財所有者同士のネットワークを作成しようと知恵を出し合っている段階。ネットワークが所有者の悩み解決になればと思っている。

(米山委員)

パルコ跡地に出来る新たな民間施設は、重点区域内設置されるため、まちと調和するような屋外広告にしていく等気を付けてほしい。

(岩渕本部長)

屋外広告物を規制している担当課へ共有する。

(野口委員代理)

市所有建造物に対する活用はどのように考えているか。

(岩渕本部長)

市所有建造物のこういったところに満足しているのか、どこが評価できるのかを整理していく。

(野口委員代理)

外国人観光客からの評価だけでなく、市民からの評価を記載してほしい。

(梅干野会長)

国をあげて観光まちづくりを実施しているが、実際にまちを使っているのは市民。市民が豊かな生活に寄与できるのかを考えるのが大切。

観光の場合、回遊性に議論が収束する。滞在時間を延ばすが経済効果がある。滞在時間を増やす取組みはあるか。

(岩渕本部長)

その観点は観光や商業の観点からも重要。市では松本駅から松本城までの「えきしろ空間」を再設計・再活性し、まちの賑わいに繋がっていくように滞在時間を増やす取組みを行っている。

(梅干野会長)

市民にとって観光が直接暮らしに良い効果を及ぼしている実感はあるのか。

(野口委員代理)

30年前に移住してきたときは、松本城に無料で登れた。いまは観光客が多く立ち寄らない。そういった意味でいうと、観光客が楽しいまちになっていると思う。

(伊波主事)

観光ブランド課にて「観光における市民意識調査」を行った。観光客が来訪することに対して、市民の8割が「来てほしい」とポジティブな意見だった。

(梅干野会長)

重点区域に限って調査した結果も見てみたい。

5 その他

(1) 次回の協議会の開催については、今後調整をしたうえで連絡したい。

6 閉 会 (司会進行 中心市街地活性本部 奥原次長補佐)

以上終了 (協議時間 1時間15分)